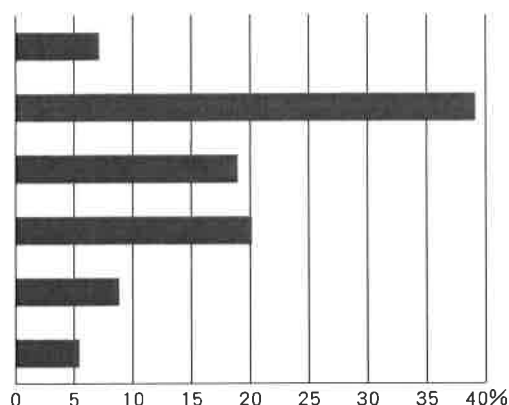


問8 貴社では、原材料・その他のコスト高、受注単価のダウン要請などにどう対応していますか(複数回答可)

回答内容	回答数	割合(%)	昨年(%)
①余裕があり、見通しも立っているため特に心配していない	17	7.2	5.9
②コストアップした分を値上げしていく	93	39.2	42.0
③合理化設備導入	45	19.0	12.2
④人員削減等による経費の圧縮	48	20.2	16.1
⑤特殊技術、特殊販路、特殊分野のため、あまり影響がない	21	8.9	15.2
⑥その他のご意見	13	5.5	8.6
合計	237	100.0	100.0



コメント

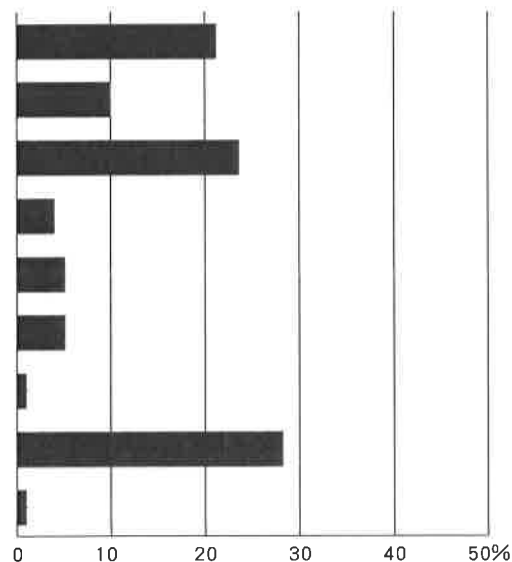
「合理化設備の導入」と「人件費削減」がともに大きく増加。

その他意見(抜粋)

- ・値上げもままならず経費削減を極力すすめる。
- ・販売価格への転嫁も厳しい。仕入先との交渉を密にしている。
- ・現状分析を月次で行うようにする。

問9 貴社の今後の経営方針についてお伺いします(複数回答可)

回答内容	回答数	割合(%)	昨年(%)
①今まで以上に販路拡大や事業拡大を考えている	78	21.3	16.7
②技術革新・新製品開発を進める	37	10.0	10.4
③取引先拡大により売上増を図る	87	23.7	22.9
④転業も含め新規事業に参入する	15	4.1	5.1
⑤規模縮小や人員削減をし、事業を継続する	19	5.2	5.7
⑥他社に委託、協業化、統合等も視野に入れている	19	5.2	4.7
⑦廃業を考えている	4	1.1	3.5
⑧現状維持	104	28.3	30.0
⑨その他	4	1.1	1.0
合計	367	100.0	100.0

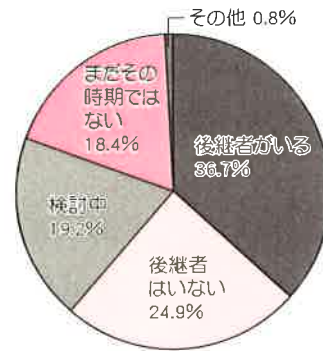


コメント

- ・「販路や事業拡大」が21.3%（前年16.7%）と大きく増加。
- ・「現状維持」が前年同様最も比率が高い。
- ・約4分の1の企業は取引先の拡大を図っている。

問10 貴社の後継者についてお伺いします

回 答 内 容	回答数	割合 (%)	昨年 (%)
①後継者がいる	90	36.7	36.3
②後継者はいない	61	24.9	21.3
③検討中	47	19.2	19.5
④まだその時期ではない	45	18.4	22.3
⑤その他	2	0.8	0.6
合 計	245	100.0	100.0

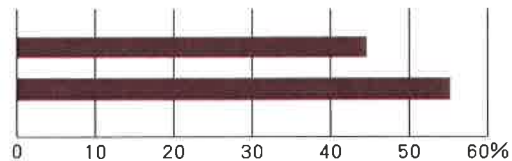


コメント

前年とほぼ同様の割合で「後継者がいる」割合は3分の1。後継者対策も喫緊の課題。

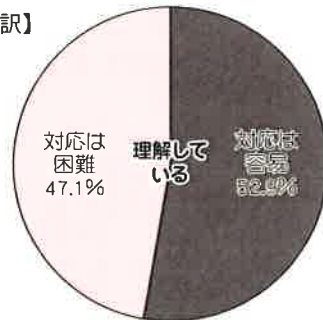
問11 消費税について (1) 軽減税率の内容について (今回初設問)

回 答 内 容	回答数	割合 (%)
①ほぼ理解している	102	44.7
②まだよく分からない	126	55.3
合 計	228	100.0



「①理解している」と答えた中で
対応は容易 54 (52.9%)
対応は困難 48 (47.1%)

【①の内訳】

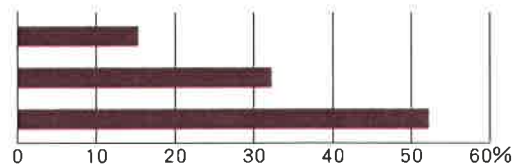


コメント

「まだよく分からない」が55.3%と、「理解している」44.7%を上回っている。また、「理解している」とする中でも、「対応は容易」(52.9%)と「対応は困難」(47.1%)がほぼ同数となっており、今後の周知や研修の必要性がかなり高い。

(2) 軽減税率の導入について

回 答 内 容	回答数	割合 (%)	昨年 (%)
①導入に賛成	33	15.4	38.3
②導入に反対	69	32.3	31.8
③どちらともいえない	112	52.3	29.9
合 計	214	100.0	100.0



コメント

「賛成」が15.4% (前年38.3%) と半減。「反対」は同割合であるが、「どちらともいえない」が倍増。次項の意見に多く寄せられているが、対応の煩雑性を心配する向きが多い。

【賛成とお答えの理由 主な意見抜粋※意見数9】

①生活必需品の税負担軽減は必要。

【反対とお答えの理由 主な意見抜粋※意見数34】

①精算が複雑になりコストがかかる。小規模店舗などは対応ができない。

②非常に複雑で設備への投資額負担が大きすぎる。
③事務が煩雑となり小規模事業者では税務申告も対応できない。またこれによる経費の増大(機器・消耗品・税理士報酬)などは経営を圧迫する。

【どちらともいえないとお答えの理由 主な意見抜粋※意見総数18】

①食品に限ってはメリットがあるが、レジ対応などが複雑。
②軽減税率の対象になるのか、経理の振り分けがどうなるのか、あいまいな部分心配。
③複数税率による経理処理の複雑化が懸念される。生活必需品については税率を下げて良い。

(3) 消費税についてご意見をお聞かせ下さい

コメント

多くのご意見をいただいている。総じて、容認はせざるを得ないが、使途や税率について、また引き上げによる影響について懸念する意見も多い。税率が都度上昇している現状への危惧や反対意見も。

【主な意見抜粋 ※意見総数70】

- ①消費税の引き上げより財政改革を優先すべきと考える。その上で消費税等税制を考える。
- ②社会保障制度を今後維持するためにも上げざるを得ないが、高所得者と低所得者の格差拡大とならない措置が必要。
- ③消費税は複雑過ぎる。
- ④増税は消費意欲を下げるので反対。
- ⑤税率が段々上昇していくことについては好ましく思えない。
- ⑥今後どこまで税率が上がっていくのか心配。

- ⑦社会保障の安定財源として必要。使途限定の目的税とすべき。
- ⑧増税はさらに財政の悪化、企業業績の悪化を招くだけである。消費税の使い道も毎年言い分が変わっているのも問題。
- ⑨一般消費者に判り易い税制にしてほしい。
- ⑩消費税の引上げに反対。
- ⑪景気に悪い影響は出ると思うが、国の財政健全化のためには予定通り値上げすべき。
- ⑫頻繁に変更せず、10%と決めたらそれを維持してほしい。
- ⑬必要なことは判るが、末端の経済に影響が現れるのでは。
- ⑭財源が然るべく使われているのか不明。税金の使いみちが不透明な限り反対。
- ⑮入出のバランスが問題。全員から取るなら全員に恩恵があれば良い、あるいは社会全体に。

問12 税制に関するご意見やご要望をお寄せ下さい

コメント

様々な観点からの意見が出ている。税と社会保障、法人税の軽減、財政との関係等々多岐に亘っている。

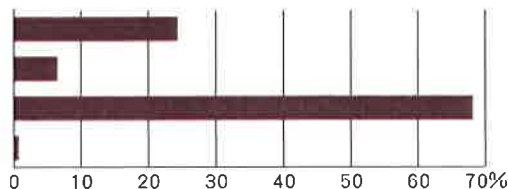
【主な意見抜粋 ※意見総数36】

- ①税制も問題であるが、支出をどう抑えていくか、国全体の財政をどうして行くかの議論の方が重要である。
- ②税の種類が多すぎる。同種の税で重なっていないか。
- ③社会保険等会社負担が多く大変。
- ④法人税が高すぎる。予定納税の必要性及び仕組みが理解できない。
- ⑤会社が欠損でも消費税は納付義務を免れない。軽減措置を考えてほしい。
- ⑥減税をしながら、一方では増税となっているような気がする。国民のためと言っていますが本当に国民の事を考えているのかわからない。

- ⑦税制そのものより使い方に問題がありそうだ。
- ⑧税制が経済社会の構造変化や取引形態の変化に対応しきれないのではないか。その時代に適合しないと判断されれば速やかに改正が廃止されるべき。
- ⑨税と社会保険料の一元化により徴収コストを下げるべき。
- ⑩税金は取られる意識を納める意識に変えなくてはと。常に税金を納める企業でありたいと思う。
- ⑪税制を複雑にして増税となっている。
- ⑫所得格差の拡大を是正するため、高額所得者への課税を強化すべき。
- ⑬現状のままでも、各優遇措置を抑えれば国の財政は増税しなくても適正化と思う。まずはデフレからの脱却が優先。
- ⑭年金、介護、医療、国の財政等を考え抜本的に議論すべき。

問13 リニア新幹線は2027年開通に向けて当地でも工事が始まりました (1) 開通までの間は貴社にどんな影響がありますか

回答内容	回答数	割合(%)	昨年(%)
①プラスの影響がある	59	24.4	25.7
②マイナスの影響がある	16	6.6	3.8
③ほとんど影響はない	165	68.2	68.0
④その他の意見	2	0.8	2.5
合計	242	100.0	100.0



コメント

「ほとんど影響はない」が約7割（68.2%）を占める。一方「プラスの影響」は24.4%で前年とほぼ同じ。「マイナスの影響」は極めて少ない。

「プラスの影響がある」については、工事関連の受注や需要の増を期待する意見が主（主な意見抜粋 意見総数42）

- ①建設業の受注増

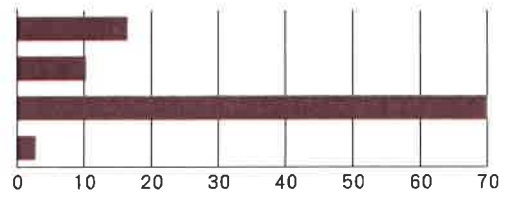
- ②住宅などの移転により工事量が増える
- ③県外の取引先との話題の一つになる
- ④公共工事の増に期待
- ⑤工事関係者による消費の拡大

「マイナスの影響がある」については、交通など環境に対する負荷、域外企業の進出等を捉えている（主な意見抜粋 意見総数16）

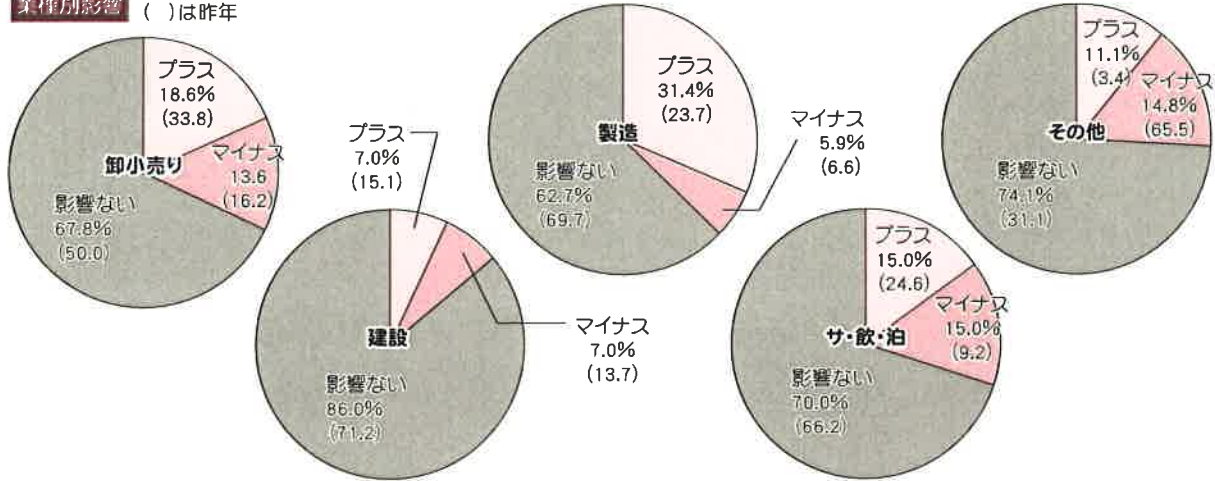
- ①交通量の増加による渋滞・事故
- ②大手企業、地域外企業の進出・競争激化

(2) リニア新幹線開通後は貴社にどのような影響が出るとお考えですか

回答内容	回答数	割合(%)	昨年(%)
①プラスの影響	40	16.6	23.2
②マイナスの影響	25	10.4	10.5
③ほとんど影響ない	169	70.1	64.7
④その他ご意見	7	2.9	1.6
合計	241	100.0	100.0



業種別影響 ()は昨年



コメント

「プラスの影響」が16.6%（前年23.2%）と減少。「マイナスの影響」10.4%は前年とほぼ同じであるが、70.1%と多くの企業が自社にほとんど影響がないと答えている。「プラスの影響」は製造業が最も高い。

「プラスの影響がある」については、取引先との時間短縮による利便性向上や商圏拡大による営業行為の拡大などが主な理由となっている（主な意見抜粋 意見総数32）

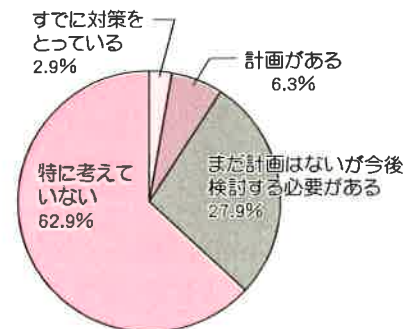
- ①都市圏への移動時間が短縮され、多く販売促進ができる
- ②来客が多くなる。都市部客への営業等利便性が向上
- ③確保したい人材の都会企業からの流入を期待したい
- ④関東や中京との交流が増える

「マイナスの影響がある」については、競合の激化や消費の流出が挙げられている（主な意見抜粋 意見総数23）

- ①外部資本の進出による競合の激化、ストロー現象による人口減少、消費の流出
- ②関連工事が終了し工事が減少
- ③東京・名古屋での買い物が増える

(3) リニア開通に向けて貴社では対策を取られていますか

回答内容	回答数	割合(%)	昨年(%)
①すでに対策をとっている	7	2.9	3.8
②計画がある	15	6.3	
③まだ計画はないが今後検討する必要がある	67	27.9	28.5
④特に考えていない	151	62.9	67.7
合計	240	100.0	100.0

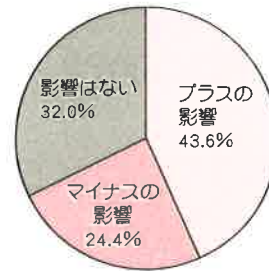


コメント

「対策をとっている・計画がある」企業は9.2%と少ない。「今後検討する必要がある」は27.9%であるが、「特に対策を考えていない」企業は62.9%と多い。開通までの時間的余裕も関係していると思われる。

(4) リニア新幹線の開通は当地域にどのような影響をもたらすと思いますか (今回初設問)

回 答 内 容	回答数	割合 (%)
①プラスの影響	86	43.6
②マイナスの影響	48	24.4
③影響はない	63	32.0
合 計	197	100.0



コメント

地域へは「プラスの影響」があるとの回答が43.6%とかなり高く、自社への影響に比べ地域への貢献が期待されている。一方、「マイナスの影響」24.4%、「影響はない」も32.0%を占める。

「プラス影響」については、時間的短縮による都市圏との利便性向上から、観光客の増加や各種交流の活発化により地域経済が活性化すると意見に集約できる (主な意見抜粋 意見総数64)

- ①首都圏・中京圏への移動時間短縮による観光・ビジネス人口の増加
- ②経済交流、人的交流、観光事業に好影響
- ③大手企業の研究所等が進出して来るのでは、という期待があり、付加価値の高い案件の増加や雇用の創出も期待している

④飯田地区の知名度が上がる

「マイナス影響」については、ストロー現象、若者・人口の流出、消費の流出等に多くの不安を抱えている (主な意見抜粋 意見総数37)

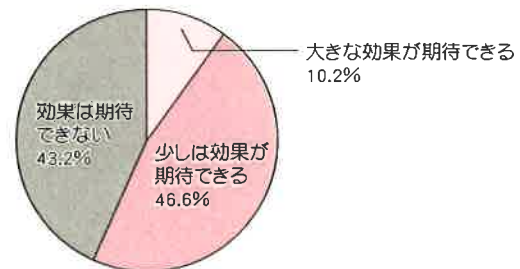
- ①小売業・サービス業の売上が減少
- ②利便性は少し向上するが、人口減少に拍車がかかる
- ③観光等で日帰りが可能となり宿泊施設等への影響

「その他意見」としては、リニアと地域づくりの関連や対応についての提言が多い (主な意見抜粋 意見総数27)

- ①プラスもマイナスもあると思うが、いかに長野県・飯田市をアピールできるかがかかっている
- ②地域のブランド化ができるか

問 14 三遠南信自動車道全線開通に伴う影響や効果について (1) 貴社への影響について

回 答 内 容	回答数	割合 (%)	昨年 (%)
①大きな効果が期待できる	24	10.2	10.8
②少しは効果が期待できる	109	46.6	37.0
③効果は期待できない	101	43.2	52.2
合 計	234	100.0	100.0



コメント

「大きな効果が期待できる」「少しは効果が期待できる」が56.8%あり、半数以上の企業が、自社にとっての効果に期待している。意見としては、移動時間や距離の短縮による利便性や営業拡大に関するものが多い。昨年に比べ、「少しは効果が期待できる」が増加し、「期待できない」が減少。

「大きな効果が期待できる」「少しは効果が期待できる」とお答えの意見 (主な意見抜粋 総数42)

- ①得意先への配送が有利になる
- ②太平洋側への移動時間の短縮

③物流コストが下がる

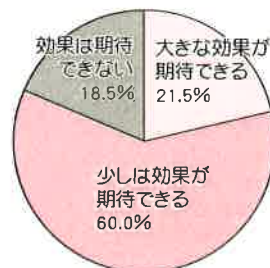
- ④太平洋側企業との新規取引が期待できる
- ⑤関連道路の整備に伴う公共工事の増加を期待
- ⑥静岡県へのアクセスが楽になり取引先拡大できそう

「効果は期待できない」とお答えの意見 (主な意見抜粋 総数7)

- ①沿線ではないので
- ②受注生産のため取引先が決まっている
- ③主要取引が地元なので関係ない

(2) 当地域への影響について (今回初設問)

回 答 内 容	回答数	割合(%)
①大きな効果が期待できる	50	21.5
②少しは効果が期待できる	140	60.0
③効果は期待できない	43	18.5
合 計	233	100.0

**コメント**

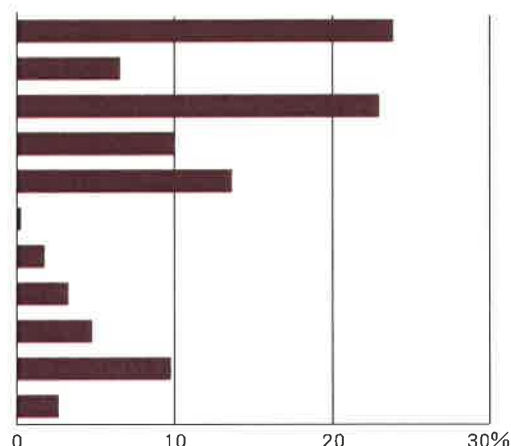
「大きな効果が期待できる」「少しは効果が期待できる」で81.5%を占める。

当地域にとって、三遠南信自動車道は大いに期待されている。

意見としては、ほとんどが時間・距離の短縮がもたらすプラスの影響（観光・物流・販売促進他）に期待する内容である（意見総数 効果が期待できる81、期待できない6）

問15 法人会事業で更に充実していきたい内容は(複数回答可)

回 答 内 容	回答数	割合(%)
①税務に関する研修会の開催	80	23.9
②決算説明会の開催	22	6.6
③経済講演会や経営セミナーの開催	77	23.0
④税制に関する要望活動	34	10.1
⑤福利厚生制度の充実	46	13.7
⑥社会貢献事業	1	0.3
⑦会員親睦事業	6	1.8
⑧法人会の婚活	11	3.3
⑨セミナー版DVDの貸し出し、インターネットセミナー	16	4.8
⑩顧問弁護士無料相談制度	33	9.8
⑪その他	9	2.7
合 計	335	100.0

**コメント**

前回と同じ傾向で、「税務に関する研修会」「経済講演会や経営セミナー」の要望が特に高い。また「税制に関する要望活動」「福利厚生制度充実」「顧問弁護士無料相談」も期待度が高い。これら期待される事業をさらにきめ細かく丁寧に進めることが必要。

アンケート自由記入部分の公開

第11回飯田法人会会員実態アンケートの自由記入には貴重なご意見を多数お寄せ頂いていますが、全文をこの紙面に掲載することはできませんでした。業種別に全文をまとめましたので、業種によっては様々なご意見があることが読み取れます。飯田法人会のホームページで公開していますのでご覧ください。

インターネットから [飯田法人会](#) 検索

アンケート結果報告会と意見発表会

10月17日にこのアンケート結果を行政、金融、報道機関へ向けて報告し、意見交換会を行いました。その様子は会報1月号でご報告します。